

●●●●●●●●●● 食品工場向け高機能フロア ●●●●●●●●●●

ACRYTONE FLOOR

●●●●●●●●●● アクリトーンフロア ●●●●●●●●●●

- 即乾
- 抗菌
- 耐衝撃
- 耐薬品

濡れたままでも、短時間で改修

1日でできる、床のリニューアル



株式会社 平井カンパニー

本 社	〒169-0072	東京都新宿区大久保2-1-3	TEL: 03-3202-4481
港北センター	〒224-0025	横浜市中区早瀬2-1-9	TEL: 045-594-4481
札幌営業所	〒003-0821	札幌市白石区菊水元町一条1-6-20	TEL: 011-874-1114
仙台営業所	〒981-3106	仙台市泉区歩坂町71-30-A	TEL: 022-776-2531
北関東営業所	〒363-0011	埼玉県横川市北2-3-5	TEL: 048-788-4614
横浜営業所	〒224-0025	横浜市中区早瀬2-1-9	TEL: 045-591-3121
静岡営業所	〒422-8054	静岡市駿河区南安倍3-10-8	TEL: 054-285-5038

●●●●●●●●●●

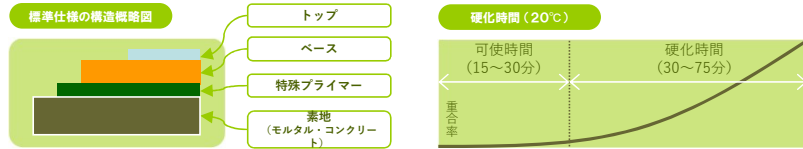


特徴：

- 工場を止めなくても、床が濡れていても、リフォームが可能です。
- カビや菌に強く、衛生環境の向上を図れます。
- 耐久性が高く、過酷な条件下でもご使用いただけます。



床が濡れていても、短時間での施工が可能



アクリトーンフロアは、湿潤面に強力な接着力を有する特殊プライマーと、硬化時間が短い特殊モルタルを使用しています。湿潤状態のコンクリート上であっても、施工後約1時間程度で固まり、短時間での施工が可能となっています。また、マイナス30°C下でも硬化反応しますので、冷凍庫内などの低温下でも施工が可能です。



衝撃・磨耗に強い

アクリトーンフロアは、衝撃に強いうえ、曲げ強度や耐摩耗性にも優れています。

耐衝撃性試験 1kgの鋼球を1mの高さから落下

試供体	結果
1:2モルタル	6回で破壊
コンクリート	9回でひび割れ・12回で破壊
JEF MR3	50回で異常なし
JEF MM5	100回で異常なし



剥離・ひび割れに強い

アクリトーンフロアは、熱膨張率がコンクリート同様に低く、剥離・クラックが起きにくくなっています。

熱膨張率 $\times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$

普通コンクリート	0.58~1.5
軽量コンクリート	0.7~1.5
気泡コンクリート	0.7~1.4
JEF下地補修材	0.6~1.5
JEFフロア仕上材	1.8~2.3
エポキシ樹脂	6.0~8.0
ウレタン樹脂	6.0~7.0



酸・アルカリに強い

アクリトーンフロアは、水溶液、漂白剤、無機酸、有機酸、動植物油、石油系物質、有機溶剤等多くの薬品類に対して極めて高い耐性を持ちます。

細菌・カビに強い

アクリトーンフロアの抗菌効果は、6菌・3カビ・1酵母だけでなく、ピブリア菌、黄色ブドウ球菌、大腸菌、サルモネラ菌をはじめとする50を超える菌に効果を発揮します。

アクリトーンフロア化学的的特性試験

結果：○ = 異常なし

試験品	方法	結果	試験品	方法	結果
無機酸	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○	ホウ酸 (30%)	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○
			クロム酸 (40%)		
			塩酸 (50%)		
			硫酸 (30%)		
			リン酸 (40%)		
			硝酸 (10%)		
有機酸	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○	乳酸 (30%)	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○
			酢酸 (10%)		
			シュウ酸 (10%)		
			クエン酸 (30%)		
			脂肪酸 (30%)		
			その他		
その他	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○	苛性ソーダ (30%)	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○
			苛性カリ (50%)		
			アンモニア水 (10%)		
			塩化ナトリウム		
			石灰乳		
			塩素水		
その他	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○	過酸化水素水 (30%)	試験薬品中に1ヶ月間侵食	○
			飽和食塩水		
			石鹼液		
			糖蜜		
			石油		
			ディーゼル油		

※数値は保証値ではありません



1日で床のリニューアルが可能です。



機械切削



手 研 り



プライマー塗布



ベース塗設



トップ塗布



完 成

(社)日本塗料工業会

F★★★★

安全性は、各機関で証明されています。

アクリトーンフロアは、(財)日本塗料工業会によるホルムアルデヒド放散等級F★★★★を取得。シックハウス症候群に対する安全性も証明されています。また、(財)日本食品分析センターでの変異原性、眼刺激性、急性経口毒性、皮膚一時刺激性の試験において好結果を得たほか、システムに取り入れている特殊防カビ・抗菌材は、米国環境保護庁(EPA)及び、食品医薬局(FDA)などでその安全性が確認されているものを利用しています。